

名古屋市立大学

産学官共創イノベーションセンター

Center for Creative Collaboration of Industry-Academia-Government



理事・副学長(研究・産学官イノベーション)
産学官共創イノベーションセンター長

今泉 祐治
Imaizumi Yuji

本学の特徴

名古屋市立大学は1950年に名古屋女子医科大学と名古屋薬科大学の統合により発足し、7学部・研究科からなる総合大学へと発展してきました。2020年に開学70周年を迎え、さらに大きく飛躍しようとしております。本学の特徴の一つとして、医薬看3学部を有し、医療人の養成とともに、生命科学・医学系領域での先端的研究の成果を世界へ発信していることが挙げられます。その結果、「THE大学インパクトランキング2020」のSDG3「すべての人に健康と福祉を」※では、2年連続国内1位にランクインしました。

(※ 2020年4月 イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education(THE)」発表)

産学官共創イノベーションセンターについて

本学は「知の創造の拠点」として、研究を通じて知を創造し、教育を通じて知を伝承していく使命を担っております。さらに、本学が保有する知恵を力に変え、社会へイノベーションを生み出すことにより、地域社会貢献はもとより、我が国の科学技術立国や人類の健康と福祉に寄与することは、本学の社会的責任であります。

そのため、2006年の公立大学法人化を機に社会貢献を推進するための体制を整備しました。2016年には研究開発強化のためURA(University Research Administrator) オフィスを設置するとともに、学内での発明の発掘、知財管理、企業への技術導出を促進してきました。さらに2019年には産学官推進体制を強化し、「組織」対「組織」の産学官金連携活動を推進するために、「産学官共創イノベーションセンター」を創設しました。

「持続可能な社会」の形成は人類共通の目標であり、SDGsは現在では産業活動においても極めて重要な指標となりました。また2020年のパンデミック発生は、社会と個人の関係の概念に新たなインパクトを与えました。一方で日本においても起業活動活性化に対する社会の期待が飛躍的に増大しております。これらの社会概念の変化は、大学の社会に対する使命を問い直す機会ともなっており、SDGsの実現に沿った産学官連携と人材育成による大学の社会貢献の重要さがより深く認識されつつあると思われまます。

開学70周年を迎えた本学は、産学官共創イノベーションセンターを母体として、組織的・戦略的な産学官金連携と研究および人材育成のサイクルをさらに加速し、社会の発展に貢献して参ります。皆様には引き続き本学との活発な共創をお願い申し上げます。

私たちに相談ください!



2020年、名古屋市立大学は開学70周年を迎えます

産学官共創イノベーションセンターの枠組み

名古屋市立大学の研究成果を産学官金の連携で活用!

＊ 地域の新たな価値創造へ ＊

企業



新しい製品を
開発したい

大学



異分野融合の
研究を進めたい

国・県・市



国、県、市の
課題を解決したい

金融機関



困っている取引先
を支援したい



産学官金連携



産学官金連携の
総合窓口

産学官共創イノベーションセンター

研究支援グループ

- ・ 研究戦略企画の立案
- ・ 大型研究費の獲得支援
- ・ シーズ発掘

産学官連携グループ

- ・ 研究成果の実用化・技術移転
- ・ 知的財産の創出・管理・活用
- ・ 大学発ベンチャー支援

URA・産学官連携コーディネーター・事務局（学術課）

名古屋市立大学

病院

医学

理学

薬学

看護

経済

芸工

人文

名古屋市立大学の産学官連携制度のご案内

本学と一緒に「もの・こと」づくりをしませんか？

産学官連携の「かたち」はさまざまです。課題や局面について、お気軽にご相談ください。
大学活用の新路を見つけてみませんか。

産学官連携の制度

大学をより活用してもらえよう多彩な制度を設けています。

共同研究	民間機関等から研究経費を受け入れて、本学の教員と民間機関等の研究者が共通の課題について共同して行う研究のことです。
受託研究	民間機関等から委託を受けて、本学の教員が受け入れた委託料により研究を行うものです。
学術奨励寄附金	学術研究の奨励に使用されることを目的とした寄附金のことです。
寄附講座	民間機関等からの寄附金を有効に活用し、教育研究の進展及び充実を図ることを目的に、講座等を設置運営するものです。
研究成果有体物	研究等の過程で創作又は抽出した、学術的価値又は財産的価値を有する材料、試薬、試料、実験動物、試作品、化学物質、菌株等の有体物を提供又は受け入れをするものです。
技術相談	本学の教員と民間機関等との共同研究などに反映していくことを目的とした技術相談を行っています。

相談窓口と流れ

ニーズ・関心

- 新規分野に参入したい
- 大学と一緒に補助金申請をしたい
- 新しい発明をしたが学術的に心配
- 製品の改良をしたい
- 大学と一緒に研究開発に取り組みたい
- 本学教員の研究内容に興味がある など

1 連絡

■ 産学官共創
イノベーションセンター
TEL: 052-853-8309
E-mail: ncu-innovation@
sec.nagoya-cu.ac.jp

※電話又はE-mailにて、産学官共創イノベーションセンター（事務局学術課内）までお気軽にご連絡ください。

2 相談・ヒアリング

ご相談内容を詳しくお聞かせください。また、疑問にもお答えします。

※ご希望の教員がいる、いないに関わらず、まずはご相談ください。ご相談内容に合わせて迅速に学内調整を図ります。

3 契約

安心して産学官連携活動を進めていただくため、本学の各種制度に基づいた契約をご提案します。

※契約内容や契約書の作成など適切な助言・サポートを行います。

4 活動開始

契約内容に合わせて産学官連携活動を開始。また、活動の状況に応じて各種相談を受付するなど、きめ細かなサポートを行います。

※活動成果として生まれる知的財産の不安点や出願へのご相談などもお伺いします。

※上記の流れは標準的なモデルを示したものであり制度や状況に応じて異なります。

お問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター（事務局学術課内）
E-mail: ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp

まずはお電話ください。

TEL: 052-853-8309

名古屋市立大学の研究成果

紫外線皮膚治療器の開発

—世界初、エキシマフィルター搭載の紫外線皮膚治療器—

医学研究科 教授 森田明理

ウシオ電機(株)との共同研究の成果である紫外線皮膚治療器「セラビーム®UV308 Slim」が2018年6月より販売開始となりました。本学帰属特許の製品化第1号である現行機種に比べ、臨床現場から寄せられた声を踏まえ、安全性はそのままに、患者、施術者にやさしい仕様となっていることが特長です。

セラビーム®UV308の3機種(現行機種、小型化のニーズを受けたmini、Slim)は、2019年12月末までに、世界7か国で、累積879台(国内736台、海外143台)設置・利用されています。

本学は、臨床現場での知見を生かし、最新の治療機器の共同開発に貢献しています。

関連特許【日本】特許第4971665号



アルツハイマー病の早期血液診断マーカーを発見

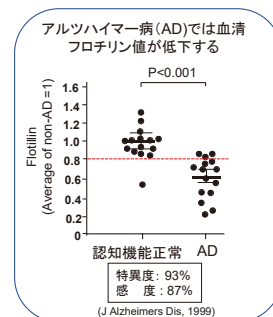
—血液1滴で診断できる可能性がある—

医学研究科 教授 道川誠

道川教授らの研究グループは、ヒトの血清を用いた研究により、血清1マイクロリットル(血液1滴以下)を使用した生化学的解析によって、アルツハイマー病あるいはその前段階である軽度認知症の診断が可能であることを発見しました。

アルツハイマー病を血液1滴で早期に診断できる画期的な診断薬開発の可能性があり、今後の実用化が期待される研究です。

関連特許出願【日本】特願2019-522098他、国内外に特許出願中



ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞の開発

—ヒト生体に近い機能を有した画期的な創薬支援用細胞—

薬学研究科 教授 松永民秀

富士フィルム(株)との共同研究の成果であるヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞「F-hiSIEC™」が2019年9月より販売開始となりました。

「F-hiSIEC™」は、ヒトiPS細胞を小腸の腸管上皮細胞に分化誘導した創薬支援用細胞です。松永教授が確立した腸管上皮細胞への分化誘導技術と富士フィルム(株)がグループ内で保有する世界トップレベルのiPS細胞関連技術などを組み合わせて開発されました。

ヒト生体に近い機能を有し、創薬研究に一般的に用いられている従来の細胞と比べて、薬物の吸収性を高精度に評価できる画期的な細胞であるため、経口剤開発の効率化に大きく貢献します。

関連特許【日本】特許第6296399号他、国内外に特許出願中



ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞「F-hiSIEC™」

開発途上国の地震に強い地域づくりに貢献

—地震リスク評価・耐震化技術の開発と普及で、ブータンの伝統建築を地震災害から守る—

芸術工学研究科 教授 青木孝義

ブータンにおいて、伝統建築(ブータンの伝統建築は組積造建築で、民家や公共施設において多くみられる工法です)の特性を実験によりあきらかにし、地震研究により得られた地震ハザード評価の結果を加味して、組積造建築の耐震化指針と減災教育マニュアルを作成し、技術者・施工者向けの講習や住民教育を通して、地震に強い地域づくりを支援しています。

また、減災教育マニュアルの運用をブータンの災害管理行政に提案し、普及させることで、国民の防災意識の向上に貢献しています。今後はこれらの技術を、他の国々にも普及させることを目指しており、開発途上国における災害に強い地域づくりに貢献していきます。

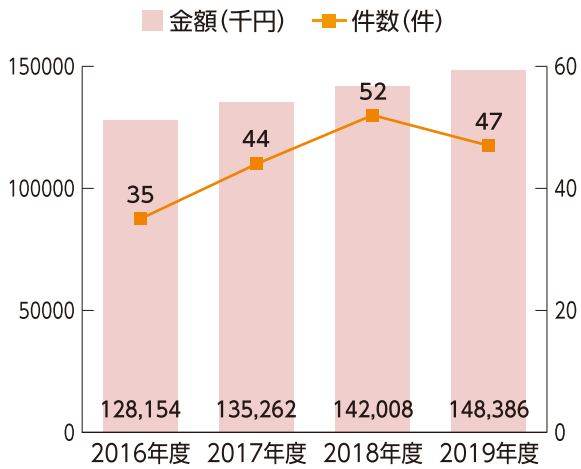
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と独立行政法人国際協力機構(JICA)が連携し、地球規模課題の解決を目指す「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」(SATREPS)採択課題



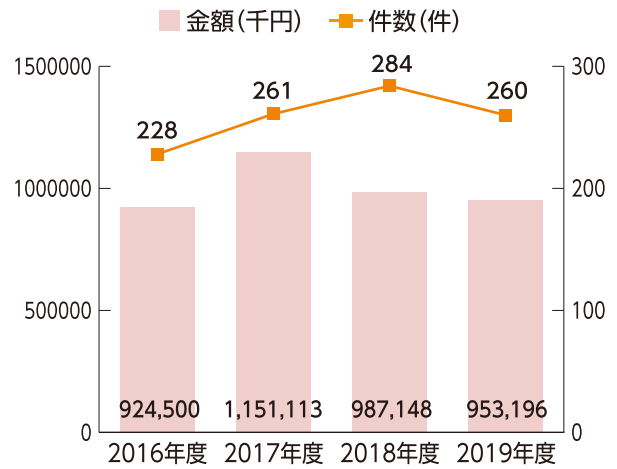
伝統建築の縮小模型による振動台実験

各種データ

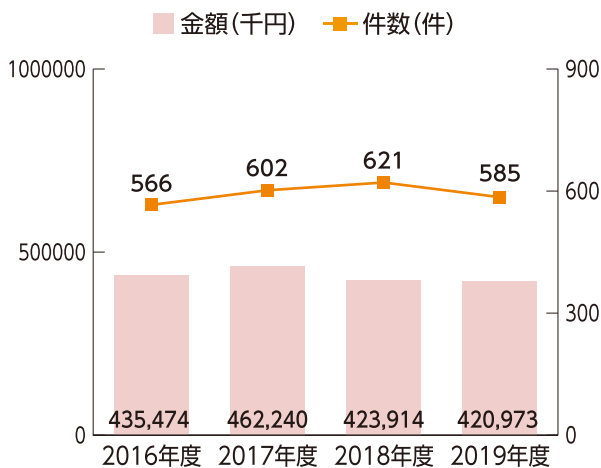
共同研究



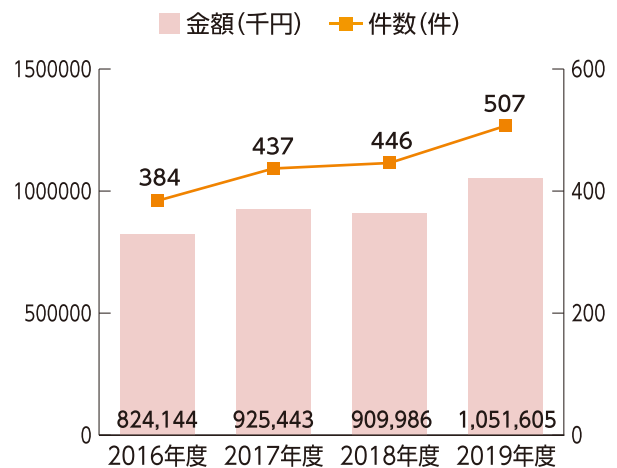
受託研究



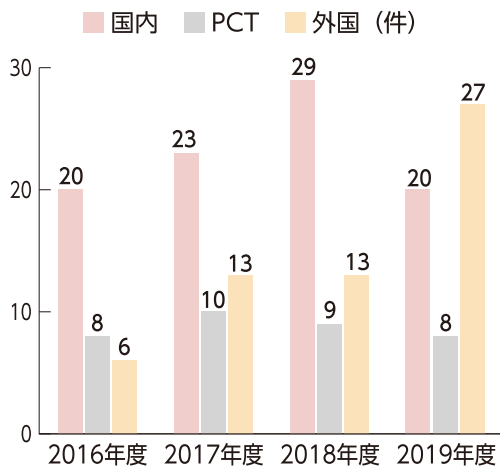
学術奨励寄附金



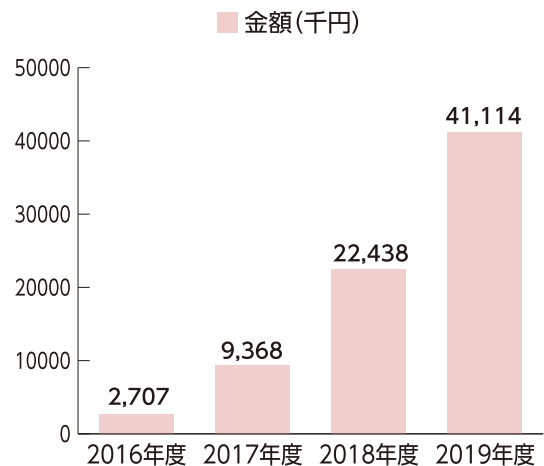
科学研究費補助金等



特許出願件数



特許権実施等収入



情報提供

研究シーズ集

「研究シーズ」をWebで公開しています。



研究分野を選択



6つの研究分野に分けて紹介しています



URL >>

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/cooperation/seeds/index.html>

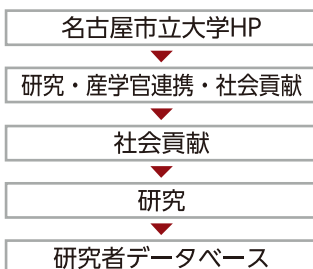


研究者データベース

研究者のプロフィールをWebで公開しています。

① キーワードを入力

フリーワード、研究者名、研究分野、著書・論文など、さまざまなキーワードで検索できます。



URL >>

<https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/search/index.html>





名古屋市立大学のナンバー1!

公立大学
唯一

医療系の
医療系3学部
を有する大学

公立大学
1位

地域貢献度
ランキング
(全国5位)
※1

全国
1st

薬と工の共同
大学院を設置
※2

全国
1st

医療経済
マネジメント
コースを開設

令和元年度 科学研究費助成事業

※3

公立**1位** 新規採択件数

中区別採択件数

公立**1位** 生体機能および感覚に
関する外科学および
その関連分野

公立**1位** 社会医学、看護学および
その関連分野

※1 日本経済新聞社「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」

※2 名古屋工業大学と共同大学院を設置

※3 2019年10月文部科学省研究振興局「令和元年度科学研究費助成事業の配分について」



THE大学インパクトランキング2020

- 総合ランキング国内同率9位(公立大学1位、世界201-300位)
- SDG3「すべての人に健康と福祉を」国内1位(世界16位)※

※「持続可能な開発目標(SDGs)」についての大学世界ランキング



桜山(川澄)キャンパス
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学研究科・看護学研究科
産学官共創イノベーションセンター



田辺通キャンパス
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学研究科
創薬基盤科学研究所



北千種キャンパス
名古屋市千種区北千種二丁目1-10

芸術工学研究科



滝子(山の畑)キャンパス
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学研究科・人間文化研究科
理学研究科



医学部附属病院
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

不育症研究センター
医療デザイン研究センター等

公立大学法人 名古屋市立大学 産学官共創イノベーションセンター

(桜山キャンパス 本部棟2階 事務局学術課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
地下鉄桜通線桜山駅3番出口すぐ
TEL: (052)853-8309 FAX: (052)841-0261
E-mail: ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

